

その英訳語が、新たなファンを逃しています!

「工芸」英訳ガイドライン

第一弾 工芸を伝える際に、気をつけたいポイント—— やきもの、漆、石川県の工芸品を中心に



こんなにバラバラ! 公的な施設で使われている訳語でも「伝わらない」ものもあります

お困りではありませんか?

「工芸」はアートと違い、「訳しようがない」独特のことばが多く、モノのつくりや素材を見たことがなければ正確に訳すことは困難です。それゆえ、専門訳者がとても少ない業界です。また、共通のガイドラインが存在しないため、同じひとつの工芸用語にいくつもの異なる訳語が使われており、混乱を招く原因となっています。公的に表示されている工芸用語の英訳を数多く例示し、国内外の有識者・工芸関係者・翻訳家のご協力のもとに、それらのどれが「適切」なのか、「適切でない」のかを理由とともに提示しました。海外の方々の理解を助け、一人でも多くの工芸ファンを増やすこと、発信する側が「伝えたいこと」を「より伝わりやすく」すること、そのための共通のガイドラインづくりの第一歩です。

注意する
ポイントが
わかる!

英語化に
関わる方にとって
必携の1冊!

目次

1. 日本特有の技や素材をどう訳すか
2. 「〇〇焼」「〇〇塗」をどう訳すか 地域の特産品の工芸
3. 「私は〇〇家(師)です」をどう訳すか 職業を英語で称する
4. 作品名、作者名、時代、所蔵の表し方
5. 発音記号(ハイフン、マクロン)の使い方
6. 「工芸」をどう伝えるか Kogeiと Craft
7. これは伝わらない/これなら伝わる工芸用語の英訳例
8. 巻末資料「文化財の英語解説のあり方について」(平成28年7月) / 「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」(平成26年3月観光庁)

対象

- ・行政機関/自治体
- ・観光案内
- ・美術館/博物館
- ・翻訳/通訳
- ・国際交流
- ・インバウンド/アウトバウンド
- ・地域創生/まちづくり

第一弾はここからダウンロード! (無料) [A4版 58頁・pdf形式]

▶ <http://thecreationofjapan.or.jp/project.info/986>

オンデマンド版A5冊子(148×210mm | 本文76頁+表紙 | オールカラー)

便利なサイズで半年毎の注文締めで制作

第1回注文 2018年9月30日〆切 / 1冊2,000円(送料込)

どうぞまとめてご注文ください

100冊注文で、第一弾編集の際に意見の分かれたものや、気づいたこと、第二弾の課題や展望など、直接伺いして無料トークを行います(交通費別途)

課題に触れ、
第二弾編集に
ご参加ください

申込書

希望部数 _____ 冊 (1冊2000円・送料込)

フリガナ お名前		御所属	
お届け先	〒		
TEL	() - □携帯 □自宅 □勤務先	FAX	() - □自宅 □勤務先
E-mail			

お申し込み先 FAX 03-3573-3315 E-mail info@thecreationofjapan.or.jp

The Creation of Japan 一般社団法人 ザ・クリエイション・オブ・ジャパン

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壹番館ビル3階 / TEL 03-3573-3339 / <http://thecreationofjapan.or.jp>